

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------------|---|-------------------------------|
| 商品分類 | 単位型投信／海外／債券 | |
| 信託期間 | 約4年9カ月間（2016年3月24日～2020年12月18日） | |
| 運用方針 | 安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要投資対象 | ベビーファンド | ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》の受益証券 |
| | ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》 | 米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等 |
| マザーファンドの運用方法 | <p>①主として、日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>※日系企業とは、日本企業もしくはその子会社をいいます。</p> <p>※社債等には、日本の政府機関、地方公共団体等が発行する債券を含みます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ．投資対象は、主として日系企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。</p> <p>※必ずしも、上記通貨のすべてが組み入れられるわけではありません。</p> <p>ロ．流動性の確保およびポートフォリオのデュレーションの調整のため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての海外の国債やコマーシャル・ペーパー等に投資することがあります。</p> <p>ハ．債券の格付けは、取得時においてBBB格相当以上（R&I、JCR、S&P、フィッチのいずれかでBBB-以上またはムーディーズでBaa3以上）とします。</p> <p>ニ．ポートフォリオのデュレーションは、当ファンドの残存年数+0.3（年）以内とすることをめざします。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>※ベビーファンド「為替ヘッジあり」においては、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。</p> | |
| 組入制限 | ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率 | 無制限 |
| | マザーファンドの株式組入上限比率 | 純資産総額の10%以下 |
| 分配方針 | 分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれが多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 | |

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ニッポン企業外債ファンド （為替ヘッジあり／為替ヘッジなし） （愛称：みやび）

運用報告書（全体版） 第2期

（決算日 2016年12月19日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ニッポン企業外債ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）（愛称：みやび）」は、このたび、第2期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/> <3279>

<3280>

ニッポン企業外債ファンド（為替ヘッジあり）

★為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | 受益者 利回り | 公社債 組入比率 | 元本 残存率 |
|------------------|--------|------------|-----------|------------|-------------|-----------|
| | (分配落) | 税込み 分配金 | 期中 騰落額 | | | |
| | 円 | 円 | 円 | % | % | % |
| 設定(2016年3月24日) | 10,000 | — | — | — | — | 100.0 |
| 1期末(2016年6月20日) | 10,070 | 30 | 100 | 1.0 | 4.1 | 100.0 |
| 2期末(2016年12月19日) | 9,755 | 30 | △ 285 | △ 2.8 | △ 2.5 | 79.7 |

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

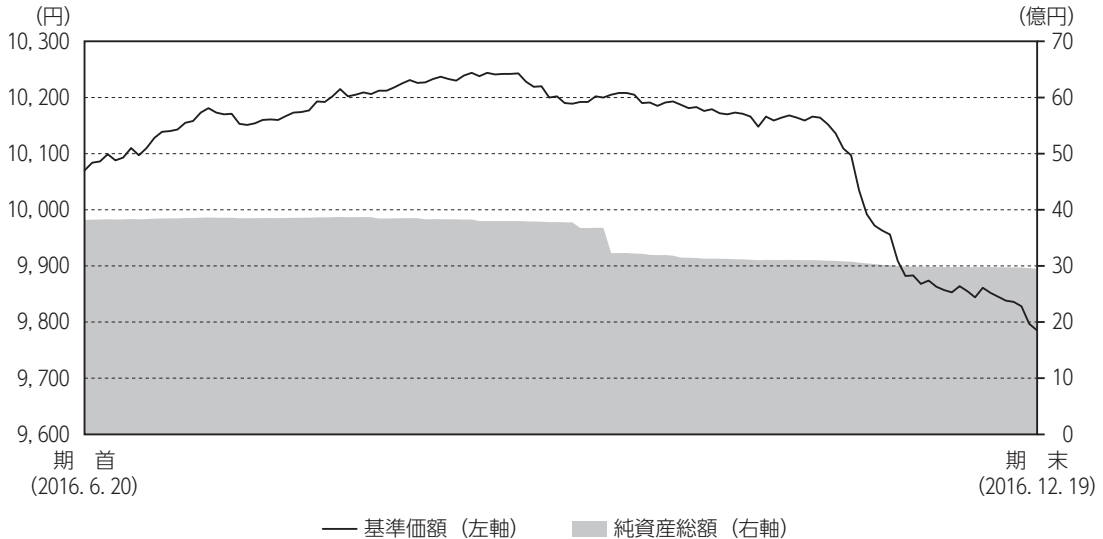
(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,070円

期末：9,755円（分配金30円）

騰落率：△2.8%（分配金込み）

■ 基準価額の変動要因

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を通じて、主として日系企業が発行する外貨建ての社債に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行なった結果、保有債券からの利息収入はプラスに寄与しましたが、社債金利の上昇（債券価格の下落）などを反映し、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ニッポン企業外債ファンド（為替ヘッジあり）

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | 騰 落 率 | | 公 社 債 組 入 比 率 |
|-----------------|----------|-------|-------|---------------|
| | | | | |
| (期首)2016年6月20日 | 円 10,070 | % | — | % 89.0 |
| 6月末 | 10,110 | | 0.4 | 87.5 |
| 7月末 | 10,174 | | 1.0 | 89.0 |
| 8月末 | 10,244 | | 1.7 | 89.9 |
| 9月末 | 10,208 | | 1.4 | 92.3 |
| 10月末 | 10,164 | | 0.9 | 99.0 |
| 11月末 | 9,863 | | △ 2.1 | 97.6 |
| (期末)2016年12月19日 | 9,785 | | △ 2.8 | 95.8 |

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○海外債券市況

主要国では、英国のEU（欧州連合）離脱に対する警戒感などから、当初は国債金利が低下（債券価格は上昇）しました。その後は、欧米の景況感の改善を示す経済指標や原油価格の回復に伴うインフレ期待の上昇などを背景に、米国の2016年内の利上げ観測やECB（欧州中央銀行）による量的金融緩和の減額懸念が広がりました。また、米国大統領選挙の結果を受け、財政拡大による景気浮揚が意識されたこともあり、国債金利は期末に向けて上昇基調となりました。

こうした環境下、米ドルなど外貨建ての社債は金利が上昇しました。ただし、発行体の信用力に目立った悪化は見られず、相対的に高い利回りを求める投資需要に支援され、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小しました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

○ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

今後も、主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、高利回りの金融セクターを中心に投資を行なうことにより高いポートフォリオ利回りを維持し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

○ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを中心としたポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は30円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における経費控除後の配当等収益が43,117,987円であり、純資産額の元本超過額がないため、経費控除後の配当等収益43,117,987円（1万口当り142.62円）を分配対象額として、うち9,069,394円（1万口当り30円）を分配金額としております。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

○ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを中心としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

1 万口当りの費用の明細

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|---------|----------------------------|---------|--|
| | (2016. 6. 21~2016. 12. 19) | | |
| | 金 額 | 比 率 | |
| 信託報酬 | 56円 | 0.552% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,122円です。 |
| （投信会社） | (27) | (0.269) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価 |
| （販売会社） | (27) | (0.269) | 販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （受託銀行） | (1) | (0.013) | 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| 売買委託手数料 | — | — | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| 有価証券取引税 | — | — | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| その他費用 | 1 | 0.009 | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 |
| （保管費用） | (1) | (0.005) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （監査費用） | (0) | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合 計 | 57 | 0.561 | |

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ニッポン企業外債ファンド（為替ヘッジあり）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2016年6月21日から2016年12月19日まで）

| | 設 定 | | 解 約 | |
|----------------------------------|---------|---------|-----------|-----------|
| | □ 数 | 金 額 | □ 数 | 金 額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| ニッポン企業外債 マザーファンド 《2020-12》 | 252,274 | 233,200 | 1,129,979 | 1,082,200 |

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

| 種 類 | 期 首 | | 当 期 末 | |
|------------------------------|-----------|-----------|-----------|-------|
| | □ 数 | 評 価 額 | □ 数 | 評 価 額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| ニッポン企業外債 マザーファンド《2020-12》 | 3,755,160 | 2,877,456 | 3,010,969 | |

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月19日現在

| 項 目 | 当 期 末 | |
|------------------------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| ニッポン企業外債 マザーファンド《2020-12》 | 3,010,969 | 98.2 |
| コール・ローン等、その他 | 55,102 | 1.8 |
| 投資信託財産総額 | 3,066,072 | 100.0 |

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝117.63円です。

（注3）ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》において、当期末における外貨建純資産（3,244,533千円）の投資信託財産総額（3,264,496千円）にする比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月19日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------------------------|----------------|
| (A) 資産 | 5,977,403,729円 |
| コール・ローン等 | 55,102,220 |
| ニッポン企業外債マザーファンド 《2020-12》（評価額） | 3,010,969,967 |
| 未収入金 | 2,911,331,542 |
| (B) 負債 | 3,028,332,353 |
| 未払金 | 3,002,201,913 |
| 未払収益分配金 | 9,069,394 |
| 未払信託報酬 | 16,920,240 |
| その他未払費用 | 140,806 |
| (C) 純資産総額（A - B） | 2,949,071,376 |
| 元本 | 3,023,131,460 |
| 次期繰越損益金 | △ 74,060,084 |
| (D) 受益権総口数 | 3,023,131,460口 |
| 1万口当り基準価額（C / D） | 9,755円 |

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,755円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は74,060,084円です。

■損益の状況

当期 自2016年6月21日 至2016年12月19日

| 項 目 | 当 期 |
|--------------------------|---------------|
| (A) 配当等収益 | △ 40,349円 |
| 支払利息 | △ 40,349 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 406,468,996 |
| 売買益 | 215,775,048 |
| 売買損 | △ 622,244,044 |
| (C) 有価証券評価差損益 | 349,237,232 |
| (D) 信託報酬等 | △ 19,395,298 |
| (E) 当期損益金（A + B + C + D） | △ 76,667,411 |
| (F) 前期繰越損益金 | 26,445,557 |
| (G) 解約差損益金 | △ 14,768,836 |
| (H) 合計（E + F + G） | △ 64,990,690 |
| (I) 収益分配金 | △ 9,069,394 |
| 次期繰越損益金（H + I） | △ 74,060,084 |

（注1）有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

（注2）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

（注3）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注4）収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

| 収 益 分 配 金 の お 知 ら せ | |
|-------------------------|-----|
| 1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み) | 30円 |

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ニッポン企業外債ファンド（為替ヘッジなし）

★為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | 受益者 利回り | 公社債 組入比率 | 元本 残存率 |
|------------------|-------------|------------|-----------|------------|-------------|------------|
| | (分配落) | 税込み 分配金 | 期中 騰落額 | | | |
| 設定(2016年3月24日) | 円 10,000 | 円 — | 円 — | % — | % — | % 100.0 |
| 1期末(2016年6月20日) | 9,411 | 30 | △ 559 | △ 5.6 | △ 22.9 | 95.2 |
| 2期末(2016年12月19日) | 10,318 | 30 | 937 | 10.0 | 5.1 | 93.8 |

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

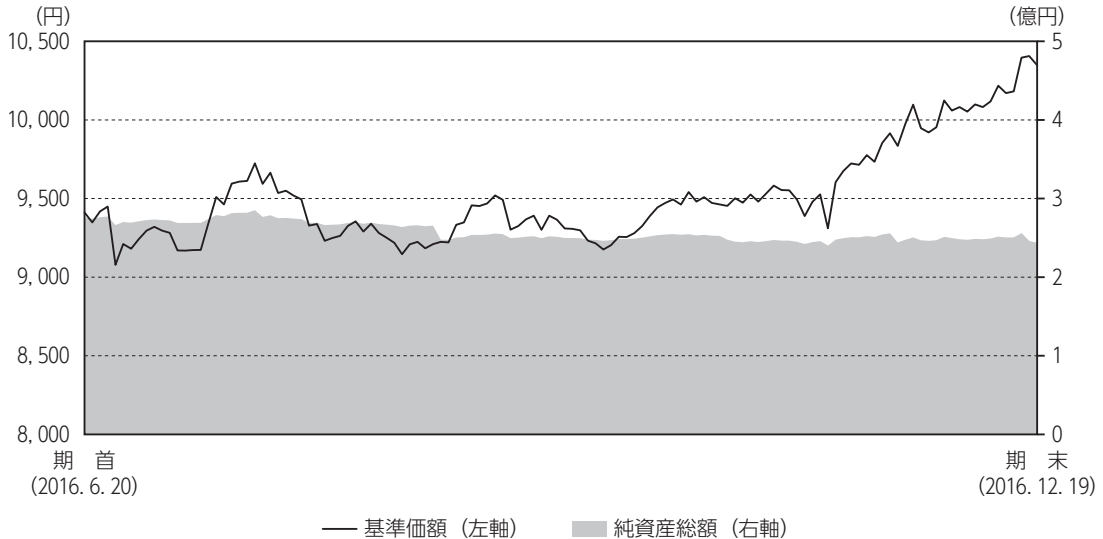
(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,411円

期末：10,318円（分配金30円）

騰落率：10.0%（分配金込み）

■ 基準価額の変動要因

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を通じて、主として日系企業が発行する外貨建ての社債に投資した結果、社債金利の上昇（債券価格の下落）はマイナス要因となりましたが、保有債券からの利息収入や円安米ドル高を反映し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ニッポン企業外債ファンド（為替ヘッジなし）

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | 騰 落 率 | | 公 社 債 組 入 比 率 |
|-----------------|---------|-------|------|---------------|
| | | | | |
| (期首)2016年6月20日 | 円 9,411 | % | — | % 95.2 |
| 6月末 | 9,296 | △ | 1.2 | 94.6 |
| 7月末 | 9,495 | | 0.9 | 92.9 |
| 8月末 | 9,457 | | 0.5 | 89.8 |
| 9月末 | 9,255 | △ | 1.7 | 93.4 |
| 10月末 | 9,554 | | 1.5 | 96.5 |
| 11月末 | 9,954 | | 5.8 | 98.3 |
| (期末)2016年12月19日 | 10,348 | | 10.0 | 93.8 |

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○海外債券市況

主要国では、英国のEU（欧州連合）離脱に対する警戒感などから、当初は国債金利が低下（債券価格は上昇）しました。その後は、欧米の景況感の改善を示す経済指標や原油価格の回復に伴うインフレ期待の上昇などを背景に、米国の2016年内の利上げ観測やECB（欧州中央銀行）による量的金融緩和の減額懸念が広がりました。また、米国大統領選挙の結果を受け、財政拡大による景気浮揚が意識されたこともあり、国債金利は期末に向けて上昇基調となりました。

こうした環境下、米ドルなど外貨建ての社債は金利が上昇しました。ただし、発行体の信用力に目立った悪化は見られず、相対的に高い利回りを求める投資需要に支援され、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小しました。

○為替相場

米国の2016年内の利上げ観測が広がったほか、米国大統領選挙の結果を受け、財政拡大による景気浮揚が意識されたこともあり、米ドルは期末にかけて対円で上昇しました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を高位に組み入れます。

○ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

今後も、主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、高利回りの金融セクターを中心に投資を行なうことにより高いポートフォリオ利回りを維持し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を高位に組み入れました。

○ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを中心としたポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は30円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額8,219,476円が、経費控除後の配当等収益3,302,643円を超過しているため、純資産額の元本超過額8,219,476円（1万口当り347.74円）を分配対象額として、うち709,090円（1万口当り30円）を分配金額としております。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を高位に組み入れます。

○ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを中心としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

1 万口当りの費用の明細

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|---------|----------------------------|---------|--|
| | (2016. 6. 21~2016. 12. 19) | | |
| | 金 額 | 比 率 | |
| 信託報酬 | 53円 | 0.552% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,511円です。 |
| （投信会社） | (26) | (0.269) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価 |
| （販売会社） | (26) | (0.269) | 販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （受託銀行） | (1) | (0.013) | 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| 売買委託手数料 | — | — | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| 有価証券取引税 | — | — | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| その他費用 | 1 | 0.009 | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 |
| （保管費用） | (1) | (0.005) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （監査費用） | (0) | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合 計 | 53 | 0.561 | |

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ニッポン企業外債ファンド（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2016年6月21日から2016年12月19日まで）

| | 設 定 | | 解 約 | |
|----------------------------------|-----|-----|--------|--------|
| | □ 数 | 金 額 | □ 数 | 金 額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| ニッポン企業外債 マザーファンド 《2020-12》 | — | — | 57,564 | 56,120 |

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

| 種 類 | 期 首 | | 当 期 末 | |
|------------------------------|---------|---------|---------|-------|
| | □ 数 | 金 額 | □ 数 | 評 価 額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| ニッポン企業外債 マザーファンド《2020-12》 | 290,356 | 232,791 | 243,593 | |

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月19日現在

| 項 目 | 当 期 末 | |
|------------------------------|---------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| ニッポン企業外債 マザーファンド《2020-12》 | 243,593 | 95.1 |
| コール・ローン等、その他 | 12,522 | 4.9 |
| 投資信託財産総額 | 256,116 | 100.0 |

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝117.63円です。

（注3）ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》において、当期末における外貨建純資産（3,244,533千円）の投資信託財産総額（3,264,496千円）に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月19日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------------------------|--------------|
| (A) 資産 | 256,116,018円 |
| コール・ローン等 | 2,522,755 |
| ニッポン企業外債マザーファンド 《2020-12》（評価額） | 243,593,263 |
| 未収入金 | 10,000,000 |
| (B) 負債 | 12,242,161 |
| 未払収益分配金 | 709,090 |
| 未払解約金 | 10,230,270 |
| 未払信託報酬 | 1,292,497 |
| その他未払費用 | 10,304 |
| (C) 純資産総額（A - B） | 243,873,857 |
| 元本 | 236,363,471 |
| 次期繰越増益金 | 7,510,386 |
| (D) 受益権総口数 | 236,363,471口 |
| 1万口当り基準価額（C / D） | 10,318円 |

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,318円です。

■損益の状況

当期 自2016年6月21日 至2016年12月19日

| 項 目 | 当 期 |
|--------------------------|--------------|
| (A) 配当等収益 | △ 255円 |
| 支払利息 | △ 255 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 1,444,949 |
| 売買益 | 569,084 |
| 売買損 | △ 2,014,033 |
| (C) 有価証券評価差損益 | 26,422,726 |
| (D) 信託報酬等 | △ 1,431,906 |
| (E) 当期損益金（A + B + C + D） | 23,545,616 |
| (F) 前期繰越増益金 | △ 17,284,323 |
| (G) 解約差損益金 | 1,958,183 |
| (H) 合計（E + F + G） | 8,219,476 |
| (I) 収益分配金 | △ 709,090 |
| 次期繰越増益金（H + I） | 7,510,386 |

（注1）有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

（注2）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注3）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注4）収益分配金の計算過程は13ページをご参照ください。

| 収 益 分 配 金 の お 知 ら せ | |
|-------------------------|-----|
| 1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み) | 30円 |

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

運用報告書 第2期 (決算日 2016年12月19日)

(計算期間 2016年6月21日～2016年12月19日)

ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》の第2期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 |
| 主要投資対象 | 米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等 |
| 運用方法 | <p>①主として、日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>※日系企業とは、日本企業もしくはその子会社をいいます。</p> <p>※社債等には、日本の政府機関、地方公共団体等が発行する債券を含みます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ. 投資対象は、主として日系企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。</p> <p>※必ずしも、上記通貨のすべてが組み入れられるわけではありません。</p> <p>ロ. 流動性の確保およびポートフォリオのデュレーションの調整のため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての海外の国債やコマーシャル・ペーパー等に投資することがあります。</p> <p>ハ. 債券の格付けは、取得時においてBBB格相当以上（R&I、JCR、S&P、フィッチのいずれかでBBB-以上またはムーディーズでBaa3以上）とします。</p> <p>ニ. ポートフォリオのデュレーションは、当ファンドの残存年数+0.3（年）以内とすることをめざします。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> |
| 株式組入制限 | 純資産総額の10%以下 |

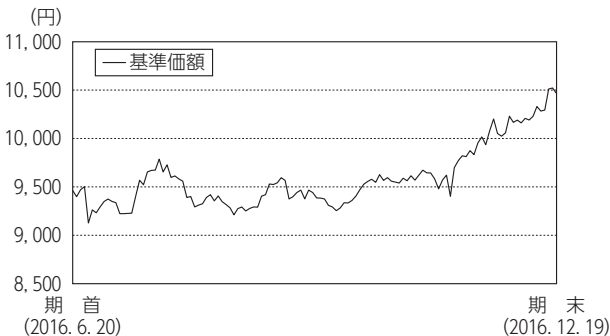
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



| 年月日 | 基準価額 | | 公社債組入比率 |
|-----------------|--------|-------|---------|
| | 円 | 騰落率 % | |
| (期首)2016年6月20日 | 9,462 | — | 95.6 |
| 6月末 | 9,349 | △ 1.2 | 95.0 |
| 7月末 | 9,559 | 1.0 | 93.2 |
| 8月末 | 9,530 | 0.7 | 90.1 |
| 9月末 | 9,334 | △ 1.4 | 93.5 |
| 10月末 | 9,646 | 1.9 | 96.6 |
| 11月末 | 10,059 | 6.3 | 98.5 |
| (期末)2016年12月19日 | 10,464 | 10.6 | 93.9 |

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,462円 期末：10,464円 騰落率：10.6%

【基準価額の主な変動要因】

主として日系企業が発行する外債建ての社債に投資した結果、社債金利の上昇（債券価格の下落）はマイナス要因となりましたが、保有債券からの利息収入や円安米ドル高を反映し、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○海外債券市場

主要国では、英国のEU（欧州連合）離脱に対する警戒感などから、当初は国債金利が低下（債券価格は上昇）しました。その後は、欧米の景況感の改善を示す経済指標や原油価格の回復に伴うインフレ期待の上昇などを背景に、米国の2016年内の利上げ観測やECB（欧州中央銀行）による量的金融緩和の減額懸念が広がりました。また、米国大統領選挙の結果を受け、財政拡大による景気浮揚が意識されたこともあり、国債金利は期末に向けて上昇基調となりました。

こうした環境下、米ドルなど外債建ての社債は金利が上昇しました。ただし、発行体の信用力に目立った悪化は見られず、相対的に高い利回りを求める投資需要に支援され、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小しました。

○為替相場

米国の2016年内の利上げ観測が広がったほか、米国大統領選挙の結果を受け、財政拡大による景気浮揚が意識されたこともあり、米ドルは期末にかけて対円で上昇しました。

◆前期における「今後の運用方針」

今後も、主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、高利回りの金融セクターを中心に投資を行なうことにより高いポートフォリオ利回りを維持し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを中心としたポートフォリオを維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを中心としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

■1万口当りの費用の明細

| 項目 | 当期 |
|-----------------|-----------|
| 売買委託手数料 | —円 |
| 有価証券取引税 | — |
| その他費用 (保管費用) | 1 (1) |
| 合計 | 1 |

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公社債

(2016年6月21日から2016年12月19日まで)

| | | | 買付額 | 売付額 |
|----|------|-----|----------|----------|
| | | | 千アメリカ・ドル | 千アメリカ・ドル |
| 外国 | アメリカ | 社債券 | — | 8,039 |
| | | | | (—) |

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年6月21日から2016年12月19日まで)

| 当 期 | | 期 末 | |
|-----|-----|--|---------|
| 買 付 | 金 額 | 売 付 | 金 額 |
| 銘 柄 | 金 額 | 銘 柄 | 金 額 |
| | 千円 | | 千円 |
| | | Nissan Motor Acceptance Corp (アメリカ) 2.55% 2021/3/8 | 259,152 |
| | | Toyota Motor Credit Corp (アメリカ) 2.1% 2019/1/17 | 231,297 |
| | | SoftBank Corp (日本) 4.5% 2020/4/15 | 104,558 |
| | | Sompo Japan Insurance Inc (日本) 5.325% 2073/3/28 | 99,797 |
| | | Nippon Life Insurance Co (日本) 4.7% 2046/1/20 | 57,362 |
| | | Nomura Holdings Inc (日本) 6.7% 2020/3/4 | 50,746 |
| | | Meiji Yasuda Life Insurance Co (日本) 5.2% 2045/10/20 | 36,086 |
| | | Fukoku Mutual Life Insurance Co (日本) 6.5% 9999/12/31 | 33,844 |

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

| 作 成 期 | 当 期 | | | | 期 末 | | | |
|-------|----------|-----------|-----------|------|--------------------|-----------|------|------|
| | 額 面 金 額 | 評 価 額 | | 組入比率 | うちBB格 以下組入 率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | 外 貨 建 金 額 | 邦貨換算金額 | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| | 千アメリカ・ドル | 千アメリカ・ドル | 千円 | % | % | % | % | % |
| アメリカ | 24,885 | 25,972 | 3,055,159 | 93.9 | — | 47.2 | 41.3 | 5.4 |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国(外貨建)公社債(銘柄別)

| 区 分 | 銘 柄 | 種 類 | 年 利 率 | 当 期 | | | 期 末 | | | |
|------|-------------------------------------|-------|--------|----------|-----------|----------|------------|-----------|--------|-------|
| | | | | 額 面 金 額 | 評 価 額 | | 額 面 金 額 | 評 価 額 | | 償還年月日 |
| | | | | | 外 貨 建 金 額 | 邦貨換算金額 | | 外 貨 建 金 額 | 邦貨換算金額 | |
| | | | % | 千アメリカ・ドル | 千円 | 千アメリカ・ドル | 千円 | | | |
| アメリカ | Mizuho Bank Ltd | 社 債 券 | 2.4500 | 2,000 | 2,001 | 235,398 | 2019/04/16 | | | |
| | Mitsubishi UFJ Trust & Banking Corp | 社 債 券 | 2.4500 | 1,000 | 997 | 117,348 | 2019/10/16 | | | |
| | Chiba Bank Ltd/The | 社 債 券 | 2.5500 | 250 | 249 | 29,372 | 2019/10/30 | | | |
| | Meiji Yasuda Life Insurance Co | 社 債 券 | 5.2000 | 2,200 | 2,282 | 268,490 | 2045/10/20 | | | |
| | Sumitomo Mitsui Trust Bank Ltd | 社 債 券 | 1.8000 | 1,500 | 1,492 | 175,582 | 2018/03/28 | | | |
| | Mitsui Sumitomo Insurance Co Ltd | 社 債 券 | 7.0000 | 1,800 | 2,031 | 239,011 | 2072/03/15 | | | |
| | Sumitomo Life Insurance Co | 社 債 券 | 6.5000 | 1,800 | 2,026 | 238,374 | 2073/09/20 | | | |
| | Dai-ichi Life Insurance Co Ltd/The | 社 債 券 | 7.2500 | 1,800 | 2,041 | 240,184 | 9999/12/31 | | | |
| | Nippon Life Insurance Co | 社 債 券 | 4.7000 | 2,100 | 2,099 | 246,988 | 2046/01/20 | | | |
| | Fukoku Mutual Life Insurance Co | 社 債 券 | 5.0000 | 1,000 | 993 | 116,811 | 9999/12/31 | | | |
| | SoftBank Corp | 社 債 券 | 4.5000 | 1,500 | 1,530 | 179,973 | 2020/04/15 | | | |
| | Sompo Japan Insurance Inc | 社 債 券 | 5.3250 | 1,500 | 1,573 | 185,046 | 2073/03/28 | | | |
| | Sumitomo Mitsui Banking Corp | 社 債 券 | 2.4500 | 2,000 | 2,005 | 235,954 | 2019/01/10 | | | |

| 区 分 | 銘 柄 | 種 類 | 年 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | | 償 還 年 月 日 |
|-----|--|-------|----------|---------|-----------|-------------|------------|
| | | | | | 外 貨 建 金 額 | 邦 貨 換 算 金 額 | |
| | | | | | 千アメリカ・ドル | 千円 | |
| | Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ Ltd/The Nomura Holdings Inc | 社 債 券 | 2.7500 % | 2,235 | 2,231 | 262,532 | 2020/09/14 |
| | Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd | 社 債 券 | 6.7000 % | 1,900 | 2,117 | 249,080 | 2020/03/04 |
| | | 社 債 券 | 2.7500 % | 300 | 297 | 35,008 | 2020/10/21 |
| 合 計 | 銘柄数 | 16銘柄 | | 24,885 | 25,972 | 3,055,159 | |
| | 金 額 | | | | | | |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月19日現在

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|--------------|--------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 公社債 | 3,055,159 千円 | 93.6 % |
| コール・ローン等、その他 | 209,337 | 6.4 |
| 投資信託財産総額 | 3,264,496 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝117.63円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(3,244,533千円)の投資信託財産総額(3,264,496千円)に対する比率は、99.4%です。

■損益の状況

当期 自2016年6月21日 至2016年12月19日

| 項 目 | 当 期 |
|------------------------|---------------|
| (A) 配当等収益 | 79,389,769円 |
| 受取利息 | 77,652,537 |
| その他収益金 | 1,764,450 |
| 支払利息 | △ 27,218 |
| (B) 有価証券売買損益 | 252,403,267 |
| 売買益 | 387,022,526 |
| 売買損 | △ 134,619,259 |
| (C) その他費用 | △ 198,627 |
| (D) 当期損益金 (A + B + C) | 331,594,409 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 217,495,249 |
| (F) 解約差損益金 | 49,224,124 |
| (G) 追加信託差損益金 | △ 19,074,325 |
| (H) 合計 (D + E + F + G) | 144,248,959 |
| 次期繰越損益金 (H) | 144,248,959 |

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月19日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-------------------|----------------|
| (A) 資産 | 3,264,496,695円 |
| コール・ローン等 | 171,714,274 |
| 公社債 (評価額) | 3,055,159,426 |
| 未収利息 | 37,622,995 |
| (B) 負債 | 10,000,000 |
| 未払解約金 | 10,000,000 |
| (C) 純資産総額 (A - B) | 3,254,496,695 |
| 元本 | 3,110,247,736 |
| 次期繰越損益金 | 144,248,959 |
| (D) 受益権総口数 | 3,110,247,736口 |
| 1万口当り基準価額 (C/D) | 10,464円 |

* 期首における元本額は4,045,517,535円、当期中における追加設定元本額は252,274,325円、同解約元本額は1,187,544,124円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ニッポン企業外債マザーファンド(為替ヘッジあり)2,877,456,009円、ニッポン企業外債マザーファンド(為替ヘッジなし)232,791,727円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,464円です。